



シリーズ 子どもたちの発達

『安心』という環境について

子供の発達に「環境が大きく影響をもたらす」ということは、発達心理学の世界でも言われていますし、私たちも経験的にその重要性を認めています。

でも改めて考えてみた時、“子どもにとってのより良い環境”とは、どのような環境のことを言うのでしょうか？！

子どもを取り巻く環境は様々です。家庭であったり社会という集団であったり、空間や道具などの物的な環境、そして周囲を取り巻く人的環境。私たちはその環境の一つです。

子どもが持って生まれた能力を発揮できるようにする為にでき得る限りの環境を築き保障する、その配慮として私たちが考え、こだわり、実践していきたいと考えていることをここでは話していきたいと思います。そして互いに子どもにとってより良い環境の1つとして学び、考え合えたらと思います。

一人一人を大切にすることの意味

まず、あたりまえのことのようですが、子ども一人一人は皆違う人間として生まれてきます。ひとりとして”全く同じ”個性や能力であるということはありません。(似ている・・・ということはあるのでしょうか・・・)

ということは、子ども一人一人の発達の仕方や速度、可能性も皆それぞれ異なっているということだと思います。

そのように皆異なる子どもの『その子が持って生まれた個性や能力』が存分に発揮できるように、その子に応じた助けをしていくことが私たち大人の役割だとするならば、私たちはどのようなことを考え、大切にしていけることが求められているのでしょうか？

この問いへの応えを常に真中へ置いて私たちも日常の保育を行っていくことが課題です。

一人の子どもに適切な助けができるようにする為にはまず、その子のことを知らなければできないと思います。その子は今どういう発達段階にあるのか、どういう個性を持っているのか、どういう壁にぶつかっているのか・・・など、その子を理解し、その子が必要としている援助をまず知ることから大人としてできる限りの具体的は援助の内容や方法がわかるのだと思います。

また、一人一人の発達に応じた援助を行うということと合わせて『子どもが安心して生活を送る』ことのできる配慮が必要だと思います。

なぜならば、安定した情緒のもとで子どもは積極的、主体的に自分の能力を発揮できるのだと考えるからです。不安や恐れが強い中で”自分らしく”まわりの環境に関わっていくことが困難であることは、私たち大人でも同じです。

この、子どもが”自分らしく”環境に働きかけたり、振舞ったりしていくことが、その子の人格を最もその子らしく育てる重要な条件のひとつであると私たちは考えています。

子どもが安心して生活できる、その一つとして保育ルームという空間には家庭的な雰囲気を築く工夫をしています。

例えば、部屋のつくりをオープンスペースにし、全体が見渡せるようにしました。このことで、子どもにとって圧迫感や威圧感がなく落ち着ける空間となり、また食事などが用意されているのを感じることができることで子どもが自然な行為として受け入れられるようにしました。その食事の時に使う食器も家庭で使っているものと同じ陶器のものやガラスのコップなどを使用しています。部屋の装飾も美的に整えることを意識し、”緑”を置いたり、季節感あるものを飾る、また部屋全体の色調もバランスや雰囲気を考え選びました。

そして何よりも、そこにいる大人一人一人が『個』を大切に、それぞれが自分らしく生活を送れるよう互いを尊重し合うことを意識しています。子どもはもちろんですが、大人自身も大切にされなければ自身の安定した情緒を築くことができませんし、そのことは子どもに還元されていくのだと思うからです。

そういった人的・物的環境と子どもは結びつき、関係を築く中で一人一人の拠り所を見出し、情緒が安定していくと考えます。そして関わりの中で子どもが自分は大切にされていると感じ、振る舞いを知ったり、他者と結びつこうとする開かれた人格になっていくことを信じています。だからこそ、子ども一人一人を、大人一人一人を、そして保育ルームを支えてくれる一人一人を、私たちは大切にしたいと思っています。

次回は「遊び」についての話題を掲載したいと思います。このシリーズについてのご意見・ご感想、疑問、質問等々、掲示板へご投稿下さい。継続して広く皆さんと考えていきたいと思ひます。

柏市駅前認証保育園 Kid's Encourage
園長 日下部樹江

